



令和4年7月5日

映画「記憶」自主上映会

主催:さぬき再犯防止プロジェクト(PROOS)

後援:香川大学

さぬき再犯防止プロジェクト (Prevent Re-Offenses Sanuki 通称 PROOS)

さぬき再犯防止プロジェクト(通称 PROOS)は、近年、社会問題となっている再犯を防止するため、法学部の学生を中心に令和2年度始動しました。(R4 現在、法学部生 31 名、教育学部生 1 名の計 32 名で活動中。)犯罪を起こした加害者の背景には、幼少期の虐待やいじめという過去の被害が影響しています。令和3年度の犯罪白書によると、非行少年や少女のうち、被虐待経験があると答えた割合は少年が約40%、少女が約70%を占めています。この上映会では、現在の少年少女を取り巻く環境を地域の方やこれからの社会を担っていく若者に知ってもらうことで、多くの人に新たな視点や考え方を持ってもらい、偏見や差別を減らすことを目的としています。

日時：令和4年7月18日（月・祝）16：30～（110分）

上映後、登壇者3名によるトークセッション（約40分）

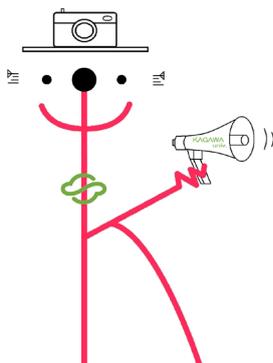
場所：高松市幸町2番1号 香川大学南キャンパス内

（※事前申し込み必須下記参照）

参加費：無料

<トークセッション登壇者> ・中村すえこ 監督
・由良 徹氏（徳島保護観察所 保護観察官）
・藤原 誠氏（元児童自立支援施設職員／公認心理師）

< 司会 > ・平野 美紀（香川大学法学部 教授）
・川村 圭（高松市障がい者基幹相談支援センター 副センター長）



参加申し込み：

事前予約制のため右記 QR コードより

7月11日（月）までにお申し込みください。

その後参加可否をご連絡いたします。

問い合わせ先：preventreoffensesanuki@gmail.com

087-832-1716（香川大学法学部 平野美紀研究室）

